

令和5年度 第1回 東陽中学校運営協議会 会議録(要点記録)

- 1 開催日時 令和5年 5月12日(金) 14時00分~15時30分
- 2 開催場所 東陽中学校会議室
- 3 出席委員 大橋 美義、吉春 辰郎、飯塚 正師、山田 玲子、小田 明美、藤田 眞弓
- 4 欠席委員 高林 昇、増谷 方明
- 5 オブザーバー 古橋 一哲(南陽協働センター)
- 6 学校 吉田宗弘(校長)、松下 直由(教頭)、廣野幸恵(教務主任)、鈴木江利子(CS ディレクター)
- 7 教育委員会 鈴木陽子(教育総務課)
- 8 傍聴者 1人
- 9 会議録作成者 CS ディレクター 鈴木江利子

10 議長の選出

大橋会長が本日の議長を務めることを申し出、全員異議なく承認した。

11 協議事項

- (1) 令和5年度学校運営の基本方針について
- (2) いじめ防止基本方針について
- (3) 夢育やらまいか事業に対する意見書について

12 会議記録

司会の大橋会長から、委員総数8名のうち6名の出席があり、過半数に達しているため、会議が成立している旨の報告があった。

(1) 令和5年度学校運営の基本方針について

別紙参照

令和4年度第4回に説明し承認されているが、改めて簡略に説明(校長)

- ・了承された内容だが、感想や質問があるかどうか。(大橋会長)
- ・保護者は、学校のどのような取り組みで子供たちが変容するのか具体的に知りたい。(山田委員)
- ・学校便り、学年便り、保健便り、ピアサポートの取組、面談などで保護者に伝えるようにしている。(校長)
- ・さらに詳細に知らせる方法はないか。(山田委員)
- ・一番良い方法は子どもに聞くことだと思う。(飯塚委員)
- ・子どもの答え方ではよく分からない。(山田委員)
- ・学校では伝えるために継続して取組んでいると思う。(吉春委員)
- ・変化は長期的なものなので、学校はより伝わりやすくなるよう努力すると思う。(大橋会長)
- ・「ピアサポート」とは何か。(藤田委員)
- ・教務主任が説明した。
- ・生涯学習の時代学び続けることが大切。グランドデザイン「知・徳・体」の「体」がもっと見えるようになると思う。今年から学校支援コーディネーターの職を受けられた飯塚さんの受けるにあたっての考えを聞きたい。(大橋会長)
- ・受けた理由は、協議会規則の目的にあるように「人づくり」が大切。しかし、いろいろな点で整っていないことが多い。会社経営で感じるのは、若者が挨拶できない、身なりが整っていない。挨拶に関しては言葉の使い方だけでなく話すトーンについても教えていきたいと考えている。自分は子供たちが大好きで子供たちと活動していきたいという気持ちが強い。(飯塚委員)
- ・学校支援コーディネーターとしてこういうことをしたいという考えがあるか。(大橋会長)
- ・学校が困っていることの解決に向けて助けてほしい。例えば、職業体験の活性化の前に子供たちに話をしてもらうのも良いと思う。(飯塚委員)
- ・3年前のデータになるが、「職場体験希望一覧」が資料に綴じてある。本年度は10月10、11日に2年生が実施する。プランニングに際して、教員のアイデア、人材発掘など学校運営協議会に提案して協力をお願いすることがあるかもしれない。(教頭)
- ・学校は職場体験の取組を何年も実施しているからノウハウがある。学校から依頼し、学校支援コーディ

ネーターを中心として地域につながり、どのくらい手厚くできるかだと思う。本当にこれでいいのかと見直すことも必要。(大橋会長)

- ・時間や人数はどのくらいか。(吉春委員)
- ・依頼した職場で可能な人数、内容は中学生にできることを設定してもらい2日間体験する。(教頭)
- ・絶対にこれだというものはない。生徒の安全に配慮しながら実施したい。(大橋会長)

(2) いじめ防止基本方針について(別紙参照)

- ・資料 P.5(4)に学校運営協議会(コミュニティ・スクール)制度を活用するとあるので連携していきたい。いじめの関係で SNS となると学校には一番見えない内容だと思う。(飯塚委員)
- ・対人関係がうまくいかない子が保健室にいるのか。(山田委員)
- ・今年から「東陽ルーム」(発達支援が必要な生徒や不登校傾向がある生徒の支えになる教室を目指す)という取組を始めた。(校長)
- ・利用する生徒の理由は1人1人違うと思う。(飯塚委員)
- ・「いじめ」は受けた側の気持ち次第でいじめと認定される。小学生の方が解決しやすく、中学生は SNS の問題になると解決が困難だと思う。(小田委員)
- ・朝の登校の見守りをしているが、男子2人がいつも一緒だったのがそれぞれ1人で来るようになった。時間の経過で解決すれば良いが自然に修復しないものだ。(大橋会長)
- ・周囲がかかわらないと解決しないこと、かかわるから問題になることがある。子どものけんかは親が見守ると良いと思う。(飯塚委員)
- ・SNS の問題は学校だけでは解決が困難だと思うので、学校運営協議会で手助けしていきたい。(古橋オブザーバー)
- ・学校から見ると家庭が、家庭から見ると学校がと考えてしまうが、いろいろな意見が出されて今までとは違うアプローチができると良い。(大橋会長)

(3) 夢育やらまいか事業に対する意見書について 全員に承認された。

その他連絡事項

- ・次回は、令和5年 7月 3日(月)14:00~15:30